

<2019年7月9日発表>

九州メタル産業(株) マレーシアにおける自動車リサイクル事業の 実現に向けた調査を実施

～環境省「令和元年度我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」対象事業に採択～

- 九州メタル産業(株)は、環境省の公募する「令和元年我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」(以下、当環境省公募事業)に採択されたことを受け、マレーシアにおける廃自動車の完全再資源化事業の実現に向けた調査(以下、本調査)を行います。
- 当環境省公募事業は、世界規模での環境負荷低減と日本経済の活性化を目的に、循環産業(廃棄物処理・リサイクル)において先進的な技術を有する日本企業の海外での事業展開促進を図るものです。
- マレーシアでは、人口当たりの自動車普及率が東南アジアトップレベル*である一方、路上等への放置自動車が必要な社会的課題となっています。九州メタル産業(株)では、同社の持つ廃自動車のリサイクル技術やシステムをマレーシアに導入、事業化することで、同国の抱える課題の解決および同社のビジネス拡大につなげます。
- 具体的には、現地企業(BPJ-Berjaya Sdn.Bhd.)との共同出資による自動車リサイクル企業の設立に向け、北九州市、アズサエスイー&イー(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所と連携しながら、事業化の実現可能性を調査してまいります。2019年度中に調査を完了した後、2021年度までに事業化準備、2022年度の事業スタートを目指します。
- 今後も当社では、金属リサイクル事業を通じて、循環型社会の推進に寄与してまいります。

*経済産業省『平成27年度エネルギー使用合理化委託促進基盤整備委託費新興アジア諸国における自動車の需要動向等調査事業報告書』より

■ 環境省「令和元年度我が国循環産業の海外展開事業化促進業務」の実施について

【事業名】 「マレーシアにおける廃自動車の完全再資源化事業
—放置自動車対策からのリサイクル事業の創出—」

【実施主体】 九州メタル産業(株)

【共同実施者】 北九州市、アズサエスイー&イー(株)、BPJ-Berjaya Sdn.Bhd.
(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

【実施期間】 2019年7月～2020年3月

【背景】 マレーシアでは、人口当たりの自動車普及率が東南アジアトップレベルである一方、路上等への放置自動車が必要な社会的課題となっている。

【概要】 マレーシアセランゴール州において現地企業との合弁で自動車リサイクル企業を設立し、廃自動車の破碎・選別・回収、原燃料化利用、金属の再資源化等のリサイクル事業の可能性を調査する。

【当社の役割】 調査主体となり、事業規模・投資・収支計画の策定、実施体制及び運営計画の策定、製品分析などを行う。

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL:0570-00-1010)まで